



集えカーラー 北見に新ホール開業

Ⓣ



ゲームや体験でにぎわう稚内市のカーリングホール＝8日

盛り上がる稚内

「国際規格」で大会誘致

今月上旬の夜、稚内市の複合スポーツ施設「市みどりスポーツパーク」内にあるカーリングホールでは、リーグ戦や体験会でカーリングを楽し

た。チームを作り、リーグに参戦したいと笑顔を見せた。

道陣が入るスペースもあり、いずれも北見市の新ホールを上回る設備を備えた。

その効果として真っ先に表れたのがカーリングチームの合宿だった。稚内市教委によると、昨年まで1件もなかった合宿が、今年9月末までにSC軽井沢クラブといったトップチームから大学の部活動まで、北見市を大きく上回る8団体、延べ356人が合宿で市内を訪れた。稚内市教委は「ホテルや稚内空港とのアクセスが良く、施設内の多目的体育館や柔道場をトレーニングに使用できる利点もある」と新ホールの売りをPRする。

む市民の声が響き渡っていた。同僚8人と体験会に初参加した市内の消防士、青木秀貴さん(49)は「新ホールのおかげで競技の敷居が下がっ

た。チームを作り、リーグに参戦したいと笑顔を見せた。

その効果として真っ先に表れたのがカーリングチームの合宿だった。稚内市教委によると、昨年まで1件もなかった合宿が、今年9月末までにSC軽井沢クラブといったトップチームから大学の部活動まで、北見市を大きく上回る8団体、延べ356人が合宿で市内を訪れた。稚内市教委は「ホテルや稚内空港とのアクセスが良く、施設内の多目的体育館や柔道場をトレーニングに使用できる利点もある」と新ホールの売りをPRする。

を決める日本選手権が行われる。市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

5月末、通年営業の新しいホールをオープンさせた稚内市。稚内カーリング協会によると、市内に初めてホールができたのは1982年。当時はまだ珍しい屋内施設だった。その年からリーグ戦も行われるなど競技の歴史は古かったが、ホールは市内の郊外にあった上、冬季のみの季節営業。正規の規格のシートも一つしかなく、カーリング界での知名度は低かった。

2011年、老朽化したホールの新設を公約した工藤広市長が初当選。15年に、移転後の稚内大谷高の跡地にホールを含むスポーツパークを整備する方針を表明し、そのホールが今年完成した。建設にあたり市がこだわったのが、国際大会を開催できる規模と規格だ。立地はホテルが多く、利便性が良い市中心部。4シ

大規模大会の誘致も順調だ。11月開催の国際大会「パシフィック・アジア選手権」は、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、来年2月には「カーリング日本一

を決定した。市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

市はパシフィック・アジア選手権開催で3100万円、日本選手権開催で4500万円の経済効果があると試算し、ホール開業の地域へのプラス効果は大きい。

(古市優伍)